



明小だより

平成22年9月
横須賀市立明浜小学校
校長 渡辺 文
NO. 6 前期末号



前期終業式！そして後期へ



“暑さ寒さも彼岸まで”

今年は、その言葉がぴったりの気候となりました。猛暑、酷暑と言われた今年の夏もようやく終わりとなり、一気に秋から冬の装いが必要となり、体が激変する気候に追いつかない子も出るのではと心配になります。どうぞ、お家の方での健康管理、よろしく願いいたします。

なお、熱中症予防対策として実施しておりました、登下校時の水筒利用につきましては、最高気温が25度前後に安定すると予想されていますので、9月末にて終了とします。衛生面・安全面での配慮・ご協力ありがとうございました。(携帯メールでもお伝えしました。)

さて、あと一週間ほどで、前期終業式を迎えます。

夏季休業を含めての半期中で、子どもたちの様々な成長を感じることができます。

1年生は、入学当時の不安そうな顔はほとんどなくなり、雨の日の登校でも要領よく教室に入ることができ、給食や掃除、日直などの当番も落ち着いて行うことができるようになりました。2年生は、たてわり活動の中で、6年生の腕にぶら下がって甘える姿がなくなり、自分のことは自分でできるようになり、給食もよく食べ、たくましさが出てきました。3年生は、低学年朝会で、1・2年生のお手本となるような姿勢の良さ、態度の立派さで真剣に話を聞いています。

4年生は、高学年朝会で私が紹介した本を貸して欲しいと校長室を訪ねて来たり、元気よくあいさつをしたりするなど意欲的・積極的な姿が見られるようになりました。5年生は、年度当初から取り組んでいる稲作りで、厳しい天候や雀の襲来に苦しめられながらも、根気強く継続的に活動を続けることができます。6年生は、難度の高まっていく学習に真面目に取り組むことや、自分のことは自分でするなど『自分のため』に活動するだけでなく、『友だちのため、下級生のため、学校のため』の活動に取り組み、そこに丁寧さや粘り強さ、工夫も加味された姿が見られるようになってきました。

これらの成長は、単に年齢や時間がそうさせたのではなく、保護者や地域の皆様のご理解・ご協力をいただく中で、子ども一人一人の努力と担任や担当する学校職員の計画的で的確で適切なかかわりがあって伸びたものであり、今後もそうでありたいと思います。

10月8日の金曜日に通信簿「あけはまの子」を持ち帰ります。お子様一人一人の努力と成長、そして後期への課題を読み取っていただき、5日間の期間ですが、後期のスタートがスムーズに迎えられるよう言葉がけをお願いいたします。



地域での遊び方についてのお願い

9月に入って『久里浜1丁目にあるマンション（ハイネス）の奥にある空き地と空き住宅に子どもたちが入り遊んでいる』という情報がありました。

早速、関係する学年担任や教頭が場所を見に行ったところ、現国土交通省の官舎が何棟も廃屋となっていて、その敷地に、広場のような草の生い茂った空き地もありました。周りはフェンスで囲まれているものの、そのフェンスには、いくつか人が通れる程の穴が開けられていました。子どもたちの話によれば「探検しに行った。」「秘密の基地のようにしていた。」「広場としてサッカーをして遊んでいたら、ボールが入っていったので・・・」と軽い気持ちで遊んでいたようですが、建物内は、電気は通っていないため大変暗く、2階の窓は割られていてガラスが散乱していたり、風が吹いたら2階からガラスが散ってくる危険性が感じられたり、小学生だけが入っているのではないような飲み物の空き缶が散らかっているなど、大人でも、一人で入っていくことを躊躇するような状態となっていました。

実際に入っていた子どもたちには、個別に指導するとともに、全校児童に、「誰もが使えるようになっている公園・グラウンドではない空き地では、許可なく遊ぶことはできないこと」「自分の家以外の建物に入るときは、了解を得る必要があること。また、その敷地・建物内で、勝手に遊んだり、物を壊したりするようなことをしてはいけないこと」などを全校朝会で指導しました。

なお、その敷地を管理する財務局とも連絡をとり、フェンスの修繕、施錠の徹底をお願いし、すぐ対応していただいております。

今後、その場所に入って遊ぶようなことはないと思いますが、今回のことで、どのような場所でどんな遊びをしたらいいのか、子どもたち自身も考えられるようになって欲しいと思います。

また、事件や事故が起きてからではいけません。お家の方々も、子どもたちが、日頃どのように遊んでいるか知っておいていただき、安全に遊ぶようお話しください。お願いいたします。

創立50周年を迎えて

5・6年生の子どもたちが中心となって行う委員会活動でも、50周年を記念しての活動を行っています。

昨年、活動の園芸委員会中心に記念植樹を行いました。その中で中庭に植えたグミは、春にたくさんの大きなグミを実らせ、子どもたちの口の中に入っていました。その他の樹木は、車に押し倒されたり、周囲の樹木に太陽の光を遮られたりしながらも、健気に葉をつけ、枝や蔓を伸ばしていています。

今年になってからは、保健委員会が今と50年前の掃除や体力・体位を比べるクイズ集会を行い、理科委員会では、中庭の池にいる亀の名前を記念の年を機に募集し、「ダニエル」と命名しました。

これからの計画されている活動は、集会委員会中心で行う「50周年輝け明浜っ子大集会」を12月に予定されています。また、「学校をもっときれいに・・・」という考えから、保健委員会では、「ゴミゼロを目指して、0の付く日（10日・20日・30日）にクラスでゴミを50個拾おう活動」、園芸委員会では緑の羽募金の一部を活用して「花や緑がたくさんの学校にしよう活動」を進めていっています。